

各位

会 社 名 株式会社 石井工作研究所
 代表者名 代表取締役社長 石井 見 敏
 (コード番号 6314)
 問 合 せ 先
 役職・氏名 取締役総務経理部長 辻 野 治 弘
 T E L (097)544-1001

平成 26 年 3 月期業績予想値と決算値との差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

平成 25 年 11 月 11 日に公表した平成 26 年 3 月期（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）業績予想値と本日公表の決算値との差異及び剰余金の配当についてお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 3 月期業績予想値と決算値との差異（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,220	百万円 △230	百万円 △205	百万円 △86	円 銭 △11.06
決 算 値 (B)	3,089	△42	△13	100	12.89
増 減 額 (B-A)	△130	187	191	186	
増 減 率 (%)	△4.0	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 3 月)	2,350	△322	△318	△394	△50.81

差異が生じた理由

当社の売上げの 9 割強を占める半導体関連事業において、積極的な受注活動を推進し、特にパワー半導体及び車載用製造装置の受注に注力しました結果、受注が増加しました。一方、売上高は第 1 四半期に生じた出荷遅れ状態は第 2 四半期以降徐々に改善しましたものの、一部検収遅れとなり、前回（平成 25 年 11 月 11 日）発表いたしました予想 3,220 百万円を 130 百万円（減少率 4.0%）下回りました。

損益につきましては、厳しい受注条件や価格引下げ圧力等があるなかで、製造原価低減や経費節減等に努め、加えて、出荷が進展し、出荷遅れ状態が徐々に改善しましたことから、営業損失は前回発表いたしました予想 230 百万円に比べ 187 百万円減少して 42 百万円となりました。経常損失は前回発表いたしました予想 205 百万円に比べ 191 百万円減少して 13 百万円となりました。当期純利益は前回発表いたしました当期純損失 86 百万円の予想に比べ 186 百万円改善して当期純利益 100 百万円となりました。

2. 剰余金の配当について

	年 間 配 当 金				
基 準 日	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前 回 発 表 予 想 (平成 25 年5月 14 日公表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00
今 回 決 定 内 容	—	0.00	—	6.00	6.00
当 期 実 績	—	0.00	—		
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月 期)	—	0.00	—	5.00	5.00

理 由

前述のように今期の業績は当期純利益を1億円計上出来ましたので、今後の事業展開等を勘案し、株主様への利益還元の意味を認識し、前回発表の5円より6円に増額いたしたいと存じます。

※ 上記記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

以 上